

燦 san

能楽 喜多流

第十回 燦ノ会

能

歌占

大島 輝久

狂言

伊文字

野村 万蔵

能

葵上

友枝 真也

2017年6月3日(土)午後2時開演(午後1時開場)

十四世喜多六平太記念能楽堂

東京都品川区上大崎 4-6-9 電話 03-3491-8813

S席 ¥6,000 / A席 ¥5,000 / B席 ¥4,000 / 二階自由席 ¥3,000

主催 燦ノ会 <http://www.sannokai.net/>

佐々木 多門 大島 輝久 友枝 真也

歌占

シテ・渡会某
子方・幸菊丸
ワキ・里人
大鼓
小鼓
箆
後見
地謡
大島 輝久
大島 伊織
殿田 謙吉
國川 純
鶴澤 洋太郎
藤田 貴寛
香川 靖嗣
友枝 雄人
友枝 昭世
他

伊文字

シテ・使いの者
アド・主
小アド・太郎冠者
小アド・女
野村 万蔵
野村 万之丞
能村 晶人
河野 佑紀

葵上

シテ・六条御息所の怨霊
シテ連・巫女
ワキ・横川小聖
ワキ連・大臣
間狂言・大臣内の者
大鼓
小鼓
箆
後見
地謡
友枝 真也
谷 友矩
則久 英志
御厨 誠吾
上杉 啓太
大倉 慶之助
成田 達志
栗林 祐輔
林 雄一郎
塩津 哲生
佐々木 多門
粟谷 能夫
他

歌占(うたうら)

加賀の国白山の麓に住む里人が父を捜している
少年を伴い、伊勢の国二見浦から来たという男
巫子に歌占(弓)に和歌の書かれた短冊をいくつ
も結びつけ、それを引かせて出てきた歌によつ
て判じる(占い)を頼みにやってきました。男巫子
は神に暇を願い出でず廻り廻りしてしまつた神罰
によつて一度は死んでしまつたけれど、三日後
に蘇生した、その間に受けた地獄の苦しみに
よつて御覧の通りの白髪になつてしまつたと語
り、里人に短冊を引かせ、病気の父親が近く回
復することを預言します。続いて少年の父の行
方も占うと短冊を既にあつていてという結果が
出ます。実はこの男巫子こそ、この少年の父親
だつたのです。再会を喜び、故郷へと帰る名残
に地獄巡りの有様を現して、親子は伴つて旅
立つて行くのでした。

伊文字(いもじ)

妻を持たない主人は神仏にすがつて妻を授かろ
うと思ひ立ち、太郎冠者を伴つて清水寺に参詣
します。西門に立つ女こそ似合ひの妻である。
という霊夢を得て西門に行く、果たして女が
立つて行きます。太郎冠者がその女を主人の元
に連れて行こうとすると、女は自分の住処をあら
わす和歌を詠んで去つてしまいます。ところが
太郎冠者はこの和歌を覚えきれずに肝心の地名
を忘れてしまいます。困つた主人と太郎冠者は
歌関所をこしらえて通りの者を止め、何とか歌
の後半を探りますが……

葵上(あおいのうえ)

左大臣の息女で光源氏の正妻葵上は物の怪に取
り憑かれて、苦しんでいました。
様々な祈祷・医療が試みられましたが、回復の
気配がないので、照日(てるひ)の巫女という
梓弓を使つて霊を呼び寄せる上手に命じて、そ
の憑きものを占わせます。巫女の梓弓の音に引
かれて現れたのは源氏の愛人である六条御息所
の怨霊でした。葵上に対する嫉妬、そして賀茂
祭(葵祭)の見物に出掛けた折、車争いをして
恥をかかされた怨みが重なつて生霊となつたの
です。横川の小型という験者を招じて加持
させるので、鬼となつて現れた御息所が今度は葵
上を取り殺そうとしますが、小聖に折られ、心
を和らげ退散します。



燦ノ会とは

「燦・産(二)」
我々三人は、能楽喜多流の同期として
歩んでおります。
会を立ち上げ、ともに目指すものは
今この時に研鑽し合ひ、個々としても
会としても「燦」の輝きを放つこと。
そこから「産」につながっていくこと。
意義ある活動の場とするべく「三」の
力を合わせてまいります。

大島 輝久(右)

能楽シテ方喜多流職分。能楽協会会員。東京在住。
1976年、福山生。喜多流職分大島政允の長男。
能大島家五代目。3歳のとき仕舞「狸々」にて初舞
台。祖父久見、父に師事、喜多流宗家内弟子を経て
現在、喜多流職分塩津哲生に師事。2003年
「狸々乱」、2010年「道成寺」、2013年「石橋
(赤獅子)」を披く。2013年重要無形文化財総
合指定。

佐々木 多門(中)

能楽シテ方喜多流職分。能楽協会会員。東京在住。
1972年生。喜多流職分佐々木宗生の長男。3
歳のとき「鞍馬天狗」の花見役にて初舞台。喜多流
宗家内弟子を経て現在、喜多流職分塩津哲生に師
事。ゆかりのある平泉・中尊寺能舞台にて、
2001年「狸々乱」、2008年「道成寺」、第一
回燦ノ会に於いて「石橋」を披く。2013年重要
無形文化財総合指定。

友枝 真也(左)

能楽シテ方喜多流職分。能楽協会会員。東京在住。
1969年生。東京生。喜多流職分故友枝喜久夫の
孫。3歳のとき仕舞「月宮殿」にて初舞台。喜多流
15世宗家故喜多実入門。喜多流宗家内弟子を経て
現在、友枝昭世、塩津哲生に師事。2004年
「狸々乱」、2008年「道成寺」、2011年「石橋赤
獅子」を披く。2013年重要無形文化財総合指
定。

お知らせ

切符のご購入、ならびに公演のお問合せはホームページから、またはお電話で喜多能楽堂までお願いいたします。●燦ノ会ホームページ http://www.sannokai.net/

予約開始 2017年4月4日(火) 午前10時~

チケットのご案内

- S席 6,000円
A席 5,000円
B席 4,000円
二階自由席 3,000円

※病気その他やむをえない事情で
出演者が変更になることがあります。
※許可なき撮影、録音はお断りいたします。
上演の妨げになる携帯電話、
アラーム付時計などの電源はお切りください。
※公演中止の場合を除き、
ご購入後のチケットの払い戻し、
変更、再発行はいたしません。



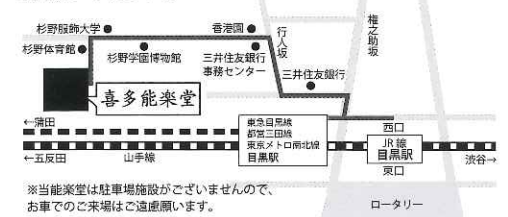
お申込み・お問合せ

公益財団法人 十四世六平太記念財団
十四世喜多六平太記念能楽堂

〒141-0021 東京都品川区上大崎 4-6-9
TEL: 03-3491-8813

交通案内

J R線・東急目黒線・都営三田線・東京メトロ南北線ともに
目黒駅より徒歩7分



※当能楽堂は駐車場施設がございませんので、
お車でのご来場はご遠慮願います。

予告 第11回 燦ノ会 2017年10月8日(日) 午後2時開演

能 楊貴妃 佐々木 多門 狂言 咲華 野村 万蔵